

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案 ページ*番号	備 考
共通仕様		1	C S V出力が全帳票でできること。				
		2	P D F出力が全帳票でできること。				
		3	画面のハードコピー操作が容易にできること。				
		4	他プログラムへ連動する時は、水栓番号や個人コードが引継がれること。 ※起動後に再度指定するようなことがないこと。				
		5	マルチタスクに対応しており、同一水栓データでなければ、入力・更新・参照系プログラムを問わずに、複数の画面、帳票を同時に使用できること。				
		6	日付をカレンダー画面から選択できること。				
		7	50を超える検索項目に対応していること。				
		8	検索したい項目を任意指定でき、指定していない検索項目は、非表示になっていること。				
		9	指定した検索項目を対象に、AND検索に対応していること。				
		10	完全一致・部分一致・あいまい検索ができること。 濁点、半濁点、拗音(カナの小文字)の違いがあっても検索できること。				
		11	施設メモ、使用者メモ情報に登録されている文字から検索することができること。				
		12	市長の交代時にも納付書等の帳票の市長名・職務代行者名の変更設定がシステム上で可能なこと。				
		13	各帳票には電子公印が使用できること。				
		14	システム操作、更新、画面印刷、ログインと、詳細ログを管理でき、C S V等に出力できること。				
問合せ／窓口業務	問合せ（画面）	15	問合せ受付時に必要となる全ての情報を1画面又は画面表示切替により表示できること。 (水栓基本情報、使用実績情報、異動履歴、分納誓約情報、お客様対応情報(未納、領収、発行、対応履歴等))				
		16	問合せ画面に表示中の使用者に対して、入力・更新・帳票などのプログラムが連動起動できること。 ※メニュー画面を表示させ、他のプログラムを起動させなくても全ての処理が完了できる仕様が組み込まれていること。				
	問合せ（施設情報）	17	使用者情報、所有者情報、使用者の送付先情報を管理できること。 (氏名、カナ、郵便番号、住所／番地、方書名／部屋番号、電話番号、メモ等)				
		18	使用者の収納情報を管理できること。 (納付制、口座制)				
		19	検針情報を管理できること。 (検針員、検針地区、検針順路、検針時に検針員へ送る通知文言、犬等の付帯情報)				
		20	各種発行情報を管理できること。 (検針票発行区分、口座振替済通知書発行区分、請求保留範囲、請求保留理由)				
		21	水道情報を管理できること。 (用途、上水簡水、上水簡水区域、水系、給水方式、止水方法、給水人口、受水槽有無等) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
		22	下水道情報を管理できること。 (用途、下水集排、下水集排区域、排水区域、排水形態、認定区分、事業区域、共用開始日、排水人口、桁数等＋公設) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
		23	水道メーター情報を管理できること。 (口径、製造メーカー、メーター番号、検定満期、メーター位置、備考等) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
		24	水道メーター交換情報を管理できること。 (交換日、メーター取付・取外指針、交換時使用量計) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
		25	下水道排水メーター(井戸)情報を管理できること。 (口径、製造メーカー、メーター番号、検定満期、メーター位置、備考等) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
		26	下水道排水メーター(井戸)交換情報を管理できること。 (交換日、メーター取付・取外指針、交換時使用量計) ※該当項目がない場合、代用項目での管理も可				
	問合せ（使用実績情報）	27	過去の使用実績情報について、前使用者・後使用者に切り替えて表示できること。				
		28	使用実績情報は、画面一覧で確認ができ、検針情報・請求情報・未納情報などの情報が確認でき、上水のみ、下水のみなど切替え表示に対応していること。				
		29	使用実績は、請求月単位でその当時の収納・送付先情報等のデータを確認できること。 ※最新の情報しか表示できないようなシステム構成ではないこと。				
		30	実績情報の詳細情報を確認できる別画面が用意されていること。 (水道情報、下水道情報、水道メーター情報、下水道排水メーター(井戸)情報、請求保留情報、検針情報、使用者・収納・送付先・所有者情報等)				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案 ページ*番号	備 考
		31	実績情報は、調定情報の詳細な経緯を確認できる別画面が用意されていること。 (当初調定、調定更正履歴、現行調定、収納履歴、還付情報、現在未納(未納、完納、過誤納情報を確認可能))				
		32	検針結果取込みと同時に、使用実績にも検針結果が表示されていること。				
	問合せ (異動情報)	33	最新の水道メーター情報が確認できること。 (新設日、取付情報、取外情報、メーター交換情報、開栓情報、閉栓情報、検針情報)				
		34	最新の下水道排水メーター(井戸)情報が確認できること。 (新設日、取付情報、取外情報、メーター交換情報、開栓情報、閉栓情報、検針情報)				
		35	異動情報は、メーター取付、開栓、閉栓、給水停止、メーター交換、メーター撤去、名義・支払情報変更、所有者変更に対する履歴が表示されること。				
	問合せ (その他)	36	未納状況は、調定ごとに一覧表示されており、且つ水道料金・下水道使用料等の内訳を件数・金額で確認できること。				
		37	収納履歴について、収納日、対象調定、収納金額、収納区分(窓口、口座振替、コンビニ、スマホ決済)等の履歴が一覧で確認できること。				
		38	誓約情報は、誓約対象の請求月、支払計画、収納状況を一覧で確認できること。				
		39	対応履歴の予定(約束)や結果を入力・確認できること。				
		40	対応予定(約束)の新規登録方法は、個別作成・一括作成ができること。				
		41	DVや生活困窮者等、重要なメモ情報などが登録されている場合は、問合せ画面を起動する際に必ず表示される仕組みとなっていること。				
異動業務	開栓、閉栓、名義変更等	42	開栓・閉栓の予約管理ができること。				
		43	市指定の様式で必要書類を出力できること。 (開始申込書、使用者変更届、所有者変更届、公共下水道使用開始届)				
		44	同じ使用者が再開栓する場合は、前使用者情報をボタン1つで全て複写できること。				
		45	口座登録・変更時は、過去使用経緯のある口座情報を一覧から選択するだけで引継ぐことができること。				
		46	閉栓方法(止水栓止、バルブ止、キャップ止等)を設定できること。				
		47	特記事項(特殊工具、オートロック、不凍栓等)を設定できること。				
		48	前回検針時の請求を持って閉栓とする場合は、調定計上しないで閉栓確定処理できること。				
		49	受付日毎に、開栓閉栓の件数を一覧表示できること。				
検針業務	検針データ作成・取込	50	検針機器との間で検針データの作成・取込みが容易に可能であること。				
		51	検針票に印刷する「お客様通知文言」を任意設定できること。				
	検針進捗管理等	52	検針員ごとに検針の進捗状況を確認できること。				
		53	検針順路の設定・変更ができること。				
	使用量のお知らせ	54	検針票を現地投函しない施設において、検針の内容を使用量のお知らせとして郵送可能であること。 ※口座振替済通知書も表示				
		55	検針票又は使用量のお知らせは、適格請求書の記載事項を満たしていること。				
	検針実績表	56	検針員ごとに、検針結果(通常・異常等)の登録状況を確認可能な一覧表を印刷できること。				
		57	前回指針、今回指針、メーター交換時使用量や調定額も確認できること。				
	検針チェックリスト	58	検針時のエラー結果が出力できること。				
調定業務	下水道認定施設	59	検針を行わない下水道の「認定対象データ」を一括作成できること。				
	定例調定処理	60	調定を計上する請求月を指定でき、一括・個別更新に対応できること。				
		61	当初調定データは、調定更正の増減に影響されない当初計上額を確保できること。 ※調定更正データ作成時点で、当初計上額が不明になるようなことが発生しないこと。				
		62	使用日数が15日以内で、かつ、使用水量が5m ³ 以下のときには、基本料金を2分の1として算定できること。				
	調定更正処理	63	当初調定に対して、調定更正の増減額や更正理由を履歴管理できること。				
		64	調定更正入力、使用水量または汚水量を入力後に調定額が自動で再計算できること。				
	調定月の実績情報	65	調定履歴の詳細データを実績情報として管理できること。				
		66	調定漏れが発生した場合、過去に遡及した調定の実績を作成できること。なお、何年遡ったとしても調定の計上日は、遡及して調定を計上した現在日で登録ができること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ* 金額	別途提案 ページ* 番号	備 考
	調定簿	67	水道が既に稼働中の施設で、下水道の賦課漏れが発生した場合でも下水道情報のみ過去に遡及した調定の実績を作成できること。なお水道の調定計上日とは別に下水道の調定計上日を管理することができること。				
		68	毎月、1日～月末までの当初調定分(更正額に影響しない)を出力できること。				
		69	指定した「調定現在日」時点の調定累計額(更正額を含む)を出力できること。				
		70	明細表(個人単位)、総括表(集計区分単位)に対応できること。				
	調定更正簿	71	毎月、1日～月末までの調定更正増減額(当初調定額を除く)を出力できること。				
		72	会計処理のため、減額の内訳を「現年度」「過年度」ごとに「未収入、収入済、合計」に集計項目を分けて出力できること。(集計表)				
		73	明細表は、日付ごとに使用者名、調定年月、更正額等が一覧表示できること。				
	親子メーター差水リスト	74	親メーターと子メーターの差水チェック用リストが出力できること。				
	使用量認定通知書	75	市指定様式を出力できること。				
	盛岡上水滝沢下水使用者	76	盛岡上水滝沢下水使用者について、盛岡市の検針結果をもとに隔月の調定・請求ができること。				
	滝沢上水盛岡下水使用者	77	滝沢上水盛岡下水使用者の検針結果をデータ出力できること。				
請求業務	納入通知書	78	同一使用者の複数調定分を、1枚の納付書にまとめて請求できること。				
		79	コンビニ収納及びスマートフォン決済に対応している納入通知書、督促状を発行できること。				
	口座振替	80	定例の口座振替及び再口座振替に対応し、口座振替依頼データの作成ができること。				
		81	口座振替依頼データについて、金融機関または支店別に集計結果の一覧が出力できること。				
	発行履歴	82	請求に係る帳票(定例納付書、口座振替、督促状、催告状、給水停止予告、給水停止執行、窓口納付書、分納納付書等)は、請求/発行履歴が自動作成され、一覧表に出力できること。				
収納業務	口座振替	83	口座振替結果データの読込ができること。				
		84	連続して振替不能となった使用者は納付制へ移行でき、一覧表を作成できること。				
		85	新・旧システム切替え時において、旧システムで作成された口座振替結果データの消込ができること。				
		86	検針票以外にも別途口座振替済通知書が発行できること。				
		87	定例の口座振替不納者へ通知書や職権停止通知書を発行でき、不能理由も記載できること。				
	口座振替結果集計表	88	金融機関別に、月別の請求件数・振替件数・不能件数の集計結果を出力できること。				
	納入証明書	89	上下水道、水道のみ、下水道のみでも出力できること。				
	収納簿 (収納確認用)	90	統計的に、調定年月ごとの集計結果を出力できること。				
		91	集計件数と金額の表示は、調定年月ごとに集計を行い年度ごとの小計、最終行に総合計が表示されていること。				
	収納状況調書 (調定/収納/未納確認用)	92	指定した日付時点に遡った、調定、収納、充当、還付、過誤納、未納を出力でき、対象者の内訳も出力できること。				
		93	調定年月単位に明細を出力でき、年度ごとに合計が表示されていること。				
		94	定例分と精算分を任意指定できること。				
	過誤納リスト	95	指定した期間において、過誤納の発生事由(調定減、二重収納等)ごとに集計結果を出力できること。				
	未収簿 (指定日付時点の未納者一覧)	96	未納残高日を指定し、過去に遡った集計ができること。				
		97	未納残高日時点において、会計上に未収金計上されていた対象者の内訳明細表を出力できること。				
		98	調定年月別に総括表を出力できること。				
収納日次業務	収納データ読込	99	バーコード又はOCRにより納付書を効率よく読取りできること。				
		100	バーコード等の読取り不良時には、手入力にも対応していること。				
		101	旧システムより出力した納付書等についても、消込処理に対応できること。				
	収納日報	102	日計表の合計と消し込み結果の確認用帳票が出力できること。				
		103	集計単位は、調定年月、会計区分、収納方法(納付書、口座振替、コンビニ・スマホ決済)、収納日別に対応していること。				
		104	明細表(個人単位)、総括表(集計結果)に対応できること。				
		105	最終ページには、日付の範囲内の集計結果(件数・金額)を出力できること。				
充当/還付処理	充当/還付処理	106	充当/還付の入力ができること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ* 金額	別途提案 ページ* 番号	備 考
	充当／還付通知書	107	充当／還付通知書が印刷でき、過誤納額と過誤納が発生した理由を表示できること。				
		108	充当通知書には、未納額・充当額・未納残額を把握可能な明細表を表示できること。				
	充当／還付一覧表	109	毎月充当／還付を行った結果を一覧表に出力できること。				
		110	過誤納月と充当月／還付月の内訳と、どの科目において過誤納額がいくら発生し、いくら充当／還付されたのかが全て把握できる明細の構成になっていること。				
		111	充当元（振替元）・充当先（振替先）の科目ごとに件数・金額が把握できる一覧が出力できること。				
		112	未処理分についても、一覧表を出力できること。				
滞納業務	分納誓約	113	支払計画が入力・管理できる分納誓約機能が組み込まれていること。				
		114	支払計画は、金額指定、支払回数指定、未納月ごとに毎月の支払額を自動設定でき、手入力にも対応していること。				
		115	誓約状況は、誓約中、完了が画面上で判断できるよう工夫されていること。				
		116	分納誓約書、分納計画に沿った納付書を出力できること。				
	滞納整理の対象者抽出	117	給水停止・追跡調査・下水のみ等、滞納整理が必要な対象者を抽出できること。				
		118	抽出した滞納整理の対象者データを確定し登録できること。				
	滞納整理の計画的な管理	119	滞納整理を計画的に実施するため対象者を抽出後、システム内で進捗管理ができること。				
	給水停止の進捗管理	120	対象者の進捗管理を行うために、最新の状況が把握できる区分等により「約束中」「給水停止予告中」など、その状況設定ができること。				
		121	最新の状況設定情報は、問合せ画面や窓口領収画面で情報共有できること。				
	給水停止予告通知書・給水停止実施(執行)通知書・給水停止解除通知書	122	市指定様式を出力できること。				
	給水停止執行状況の実績一覧	123	給水停止執行状況及び成果を確認できる実績一覧を出力できること。				
	催告状	124	上下水、水道のみ又は下水道のみの滞納区分別に市指定様式を出力できること。				
		125	催告状の発行履歴を作成でき、問合せ画面上で確認できること。				
	債権管理	126	滞納整理の状況について把握が可能であること。（支払督促中、差押中、滞納処分執行停止中など）				
		127	時効の年数を、水道（民法改正前・後）・下水道ごとに管理できること。				
統計資料作成	使用量／金額集計 (水道、下水道用)	128	水道、下水道別に調定の件数・使用水量・金額の集計結果を出力できること。				
		129	調定年月を範囲指定できること。				
		130	水道を指定した場合、用途・地区・口径・水系の集計区分に対して、用途別に口径ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など、任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。				
		131	下水道を指定した場合、用途・地区・排水区域・事業区域の集計区分に対して、用途別に排水区域ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など、任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。				
		132	任意指定された集計区分に対して、それぞれ範囲指定も同時にできること。				
	段階別使用量集計 (水道、下水道用)	133	水道、下水道別に段階別に使用水量の集計結果を出力できること。				
		134	使用水量の段階の範囲は、任意で変更できること。				
		135	調定年月を範囲指定できること。				
		136	水道を指定した場合、用途・地区・口径・水系の集計区分で集計結果を出力できること。				
		137	下水道を指定した場合、用途・地区・排水区域・事業区域の集計区分で集計結果を出力できること。				
		138	一覧表には、集計区分ごとに使用水量・金額・消費税が出力されていること。				
	大口使用者用集計	139	水道・下水道別に、大口使用者について順位付けのうえ一覧表を出力できること。				
		140	一覧表には、水栓番号、使用者情報、住所、用途、口径、使用量、金額、消費税が表示されていること。				
		141	調定年月、使用水量、金額を範囲指定できること。				
		142	水道は、住所・用途・口径・水系を範囲指定できること。				
		143	下水道は、用途・排水区域・事業区域を範囲指定できること。				
		144	順位付けを行う出力順について、使用水量/金額を選択できること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案 ページ*番号	備 考
	基本・超過・用途口径別集計	145	用途・口径別に、基本量・超過量に対する件数・水量・金額を集計した結果について、12ヶ月分の内訳とその合計を確認できる帳票を出力できること。				
		146	調定年月を範囲指定できること。				
	施設件数集計	147	施設の登録状況について、水道・下水道別に、施設の状態(使用、休止、停止、撤去、廃止)ごとに、件数の集計結果を出力できること。				
		148	水道を指定した場合、用途・地区・口径・水系の集計区分に対して、用途別に口径ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など、任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。				
		149	下水道を指定した場合、用途・地区・排水区域・事業区域の集計区分に対して、用途別に排水区域ごとの集計や地区別に用途ごとの集計など、任意の組み合わせによる集計結果を出力できること。				
		150	任意指定された集計区分に対して、それぞれ範囲指定も同時にできること。				
メーター交換	満期取替予定表 (予算用)	151	年度ごとに4月～3月までにメーター交換が必要になる件数について、口径・型式ごとに集計結果を出力できること。				
		152	検定満期を範囲指定できること。				
		153	施設の状態(取付、使用、休止、停止)を任意指定できること。				
	満期取替予定表 (訪問用一覧)	154	メーター交換の対象施設を、住所別・検針地区ごとに一覧出力できること。				
		155	検定満期を範囲指定できること。				
		156	施設の状態(取付、使用、休止、停止)を任意指定できること。				
	交換予定データの作成 (Excel対応)	157	メーター交換の対象施設を、Excel出力できること。				
		158	Excel上には、メーターの交換前情報と交換情報の入力欄が事前に出力されていること。				
	交換結果の入力・取込み (Excel対応)	159	Excel入力時に、必要となるコード表等もシステムからExcel出力できること。				
		160	Excel入力欄に交換情報を入力し、入力結果に不正データがないかどうかのエラーチェック後に取込み処理ができること。				
	交換結果入力 (個別入力)	161	交換結果は、個別に画面入力ができること。				
		162	交換時使用量は、交換時指針を入力すれば自動算定できること。				
	メーター交換のお知らせ	163	交換前に、お客様に事前通知可能な帳票が出力できること。				
		164	Excelの交換予定施設を対象に出力できること。Excel上の情報が最新でない場合、印字する情報はシステムの最新データを印刷できること。				
		165	交換予定日(日付の範囲)、発行日を指定できること。				
	メーター交換伝票 (交換業者記載用)	166	交換業者が、交換結果を記載する帳票(単票)が出力できること。また併せて管理用の一覧表も出力できること。				
		167	交換結果をお客様へ投函するための欄を設けることができること。				
		168	交換結果を、一覧表でも記載可能な様式が用意されていること。				
		169	交換用帳票(単票)には、メーターの位置情報も表示されていること。				
	個別メーター交換対応 (故障・くもり等で交換)	170	故障などの理由により個別交換が必要な場合は、個別入力ができること。				
	交換結果の確定更新前チェック	171	Excelの交換結果を取り込み後に、不正データがないかどうかを事前チェックできること。				
		172	前回使用量と比較して、〇%以上増量しているかを指定でき、且つ交換時使用量が〇m3以下を対象外にできること。				
		173	前回異動が新規開栓で〇m3以上かをチェックできること。				
		174	休止、停止状態で、使用量が〇m3以上発生しているかをチェックできること。				
		175	撤去時に、使用量が〇m3以上発生しているかをチェックできること。				
		176	交換までの使用日数が、指定範囲以外のものをチェックできること。				
		177	指定範囲内の検定満期以外のメーターが取り付けられているかをチェックできること。				
		178	前回異動日より取付日が前の日付のものをチェックできること。				
		179	前回指針より取付指針のほうが小さいものをチェックできること。				
下水道情報	下水道開始入力 (水道使用中に下水開始)	180	水道のみ使用中の施設に、下水道を開始するための入力処理ができること。				
	下水道未接続一覧	181	下水道が未接続の施設を対象に一覧表を出力できること。				
		182	未接続の施設の内、供用開始しているがまだ未接続である施設を出力できること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案 ページ*番号	備 考
	下水道認定施設一覧	183	水道の施設状態（使用、休止、停止、撤去、廃止）について、任意の組み合わせ設定で出力できること。				
		184	下水道使用料を認定で算定する対象施設の一覧表を出力できること。				
		185	固定認定、加算認定、減算認定、水量比較が設定されている対象施設を出力できること。				
		186	公共下水道、農業集落排水、個別浄化槽ごとに、絞込みができること。				
		187	下水道の施設状態（接続、使用、休止、停止、撤去、廃止）について、任意の組み合わせ設定で出力できること。				
年度末業務	不納欠損処理	188	不納欠損は、収納データを無理やり操作(削除や完納等)することなく処理することができること。				
		189	会計ごとに、それぞれ不納欠損処理が行えること。				
		190	誤って不納欠損を確定してしまった場合など、不納欠損の取消処理もできること。				
	不納欠損一覧表	191	不納欠損の予定データ、確定データをそれぞれ出力できること。				
		192	不納欠損日、調定年月、不納欠損理由で絞込み抽出ができること。				
		193	債権者の個別指定ができること。				
		194	明細表は、債権者ごとに明細出力ができること。				
		195	総括表は、不納欠損日別、未納年月別に件数・各種金額が確認できること。				
検針システム	全般	196	スマートフォン又はモバイル端末による検針システムを導入できること。				
		197	画面表示項目として、口径、メーター番号、メーター位置、検針順、下水道の有無、犬の有無が確認できること。				
		198	集合住宅等における検針では、一時的にお知らせ票の印刷を保留しておき、ポストへ投函するなど任意のタイミングで一括印刷ができること。				
		199	メーター位置情報の変更は、検針システム上で検針員が任意に変更できること。				
		200	検針順路・水栓番号等で検索ができること。				
	異常判断／認定処理	201	異常水量が発生した場合、画面上で視覚的に認識できるよう表示できること。				
		202	異常水量が発生した場合、異常水量の理由が選択できること。				
		203	指針入力時のチェック機能として、メーター交換、メーター回転の判断ができること。				
	連絡事項・メモ機能	204	検針員からお客様へ連絡するためのメッセージが選択でき、且つ選択した連絡事項が検針票に印字されること。				
		205	検針員からセンターへのメッセージが選択・登録でき、検針時の注意情報（犬、ハチの巣等）も登録できること。				
	検針票	206	親施設だけでなく、子施設の検針結果についても検針票を印字できること。				
	バックアップ	207	メモリーカード等に暗号化した検針データをバックアップできること。				
他システムとの連携	料金システム属性データの連携	208	定期的に、マッピングシステム上で必要となる属性データの提供ができること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案ページ*番号	備 考
給水申請業務	受付業務	1	給水装置工事申請の受付入力ができること。				
		2	事業（上水道、簡易水道）単位で受付履歴を管理できること。				
		3	事業、年度ごとに受付番号を自動採番できること。				
		4	受付番号は、空き番号を任意指定できること。				
		5	工事種別は、予定、開発、先行、新設、改造、撤去、職権に対応していること。				
		6	アパート、マンション等の場合、複数施設を1つの受付データとして効率よく登録できること。				
		7	給水申請受付の進捗状況を把握できるように、申請状況を管理できること。 （受付中、審査待、許可待、検査待、検査済、完了、取消） なお、画面・帳票一覧、入力画面で確認できること。				
		8	申請者（所有者）、指定工事店、代理人、管理人、申込者が入力できること。				
		9	選択した指定工事店情報に紐づく、主任技術者を一覧画面より選択できること。また解任された主任技術者を容易に区別できるように表示されること。				
		10	申込み情報は、所有者情報、所在地住所を任意で複写できること。 （氏名、住所、方書、電話番号等）				
		11	申込日、受付日、完了日、取消日が入力できること。				
		12	給水装置の所在地及び関連情報を管理できること。 （住所、建物名、配管図番号、水系、上水簡水区分、予定栓番号、予定区画番号、分岐元の管種・口径、引込先の管種・口径、第1止水種別、第2止水種別等）				
		13	建物関連情報を管理できること。 （建物使用用途、建物給水方式、地上・地下階数（建物と給水階）、給水戸数、メーター設置数、給水栓設置数等）				
		14	竣工図書の登録状況を把握できること。				
		15	申請受付完了後は、登録された情報が容易に編集できないよう制御できること。				
		16	所在地に紐づく最新の受付情報を水栓番号単位で一覧表示できること。 （水栓番号、建物名、部屋番号、所有者コード、所有者名、権利移動日、口径、権利残額、最新の申請受付番号）				
		17	申請対象施設の加入金請求情報を一覧表示できること。 （年度、受付番号、発行日、明細情報（水栓番号、取付口径／増径前口径⇒後口径）、調定額、最終領収日、最終収納方法、収納額、未納額、納付状況）				
		18	申請対象所在地に紐づく所有者異動履歴情報を一覧表示できること。 （異動前所有者情報、異動後所有者情報、対象施設一覧（水栓番号、建物名、部屋番号、口径、加入金単価）				
		19	1つの水栓番号に紐づく申請履歴及び所有者異動履歴を検索できること。				
	工事情報	20	工事着手日、工事完了日、工事メモ、配管番号が入力できること。				
	審査情報	21	審査履歴（許可、不許可、再審査）を管理できること。 （審査日、審査員、審査区分（設計審査、設計変更、再審査）、審査対象施設の水栓番号、通知日、承認日、承認番号、メモ情報等）				
		22	1つの審査情報で、複数施設の審査情報が登録できること。				
		23	複数施設が審査対象の場合は、審査対象施設を任意に選択できること。				
		24	審査状況を管理でき、画面上で確認できること。				
		25	審査対象となる全ての施設情報を、画面一覧で確認できること。 （水栓番号、建物名、部屋番号、最新の審査状況（審査区分、審査日、承認日、審査状況、承認番号）				
	検査情報	26	検査履歴（合格・不合格、再検査）を管理できること。 （検査日、検査員、検査方法、中間検査、竣工検査、再検査、検査対象施設の水栓番号、備考、水量、残留塩素、静水圧、動水圧、メモ情報等）				
		27	1つの検査情報で、複数施設の検査情報が登録できること。				
		28	複数施設が検査対象の場合は、検査対象施設を任意に選択できること。				
		29	検査状況（検査待、合格、不合格）を管理でき、画面上で確認できること。				
		30	検査対象となる全ての施設情報を、画面一覧で確認できること。 （水栓番号、建物名、部屋番号、最新の検査状況（検査区分、検査方法、検査日、検査状況）				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ* 金額	別途提案 ページ* 番号	備 考
	施設情報	31	給水装置の施設情報を水栓番号ごとに管理できること。 (用途区分、給水方式、メーター口径、型式、製造メーカー、メーター番号)				
		32	水栓番号は、任意指定できること。				
		33	施設情報は、申請における最終的なメーター情報及び取付・取外情報（以下、本設情報）を管理できること。 なお、一部竣工（施工中に水道を使用）の場合であっても本設情報と同様の情報を別管理できること。				
		34	新設時は、一部竣工及び本設入力時における初期値情報を自動表示できること。 (用途区分、給水方式、口径、型式、製造メーカー、検定満期、指針桁数)				
		35	新設時の初期値情報は、システム設定として一部竣工及び本設の双方を設定可能な画面が用意されていること。				
		36	新設時は、アパートなど複数施設の入力については、1施設分入力した情報を基に、流用新規機能を活用することで効率よく入力できること。				
		37	改造時は、メーター交換（取替、増径、減径）情報を管理できること。また交換前、交換後のメーター情報も管理できること。				
		38	新設、増径時において、メーター移設（撤去⇒新設）、施設数が複雑に増減する建替え時等の条件を含め加入金を自動算定できること。				
		39	同一の所有者において、撤去・新設が同時期に行われた場合は、加入権利の移設機能に対応していること。				
		40	メーターを移設した際は、移設元（撤去）と移設先（新設、改造）情報がデータの関連付けされていること。 また、その対象施設がどの水栓番号と関連しているのかを撤去・新設双方の入力画面上で把握できること。				
		41	メーターの移設先の施設情報には、移設元口径に対して移設先口径が同径、増径、減径だったのが把握できるよう画面上に表示できること。				
		42	・建替え等、1施設を撤去し複数施設を新設する ・複数施設を撤去し大口径を新設する など移設情報を含め様々なパターンによる加入金の自動計算に対応していること。また、撤去された施設の加入権利が、どの施設の加入金に充当されたのかを把握できること。				
		43	複数施設の申請受付を含め、申請取消しを行った受付履歴を管理できること。				
		44	複数施設の申請受付を含め、複数施設の内任意に指定した施設のみを取消しできること。				
		45	取付情報を、一部竣工と本設の双方を管理できること。 (取付日、取付指針、取付者、出庫日、出庫区分)				
		46	取外情報を、一部竣工と本設の双方を管理できること。 (取外日、取外指針、取外者、入庫日、入庫区分)				
	問合せ	47	受付履歴の検索画面が用意されていること。				
		48	検索画面には、以下の項目により検索できること。 (水栓番号、住所、番地、建物名、年度(範囲指定)、受付番号(範囲指定)、進捗状況、申込日、受付日、完了、取消日、所有者、指定工事店、一部竣工、設計変更、水系、取出管種・口径、引込先管種・口径、メーター口径、メーター番号、メーター取替・増径・減径、メーター移設元・移設先、未納有無、等)				
	帳票	49	問合せ画面で絞り込んだ結果一覧を基に、給水申請受付一覧表を出力できること。 (年度、受付番号、工事種別、受付日、申請状況(受付中、審査待、許可待、検査待、検査済、完了、取消)、所有者名、指定工事店名、所在地住所、建物名、水栓番号、部屋番号、メーター口径(増径・減径表示含む)、一部竣工情報(口径、審査状況)、最終審査情報(審査日、審査状況)、最終検査情報(検査日、検査状況)、未納有無)				
		50	給水申請受付一覧表の表示方法は、1つの受付に対して1行のみ出力する場合と、1つの受付で複数施設を全て表示する場合に対応できること。				
		51	給水申請受付一覧表は、並べ替えを複数指定できること。				
		52	指定した抽出条件は、画面終了と同時に保存され、次回起動時に前回抽出条件として指定されていること。				
		53	給水装置工事台帳（市指定様式）が出力できること。				
		54	給水装置工事台帳は、申請受付入力画面より対象の受付情報に絞り込んだ状態で運動起動又は同一画面により表示できること。				
		55	工事完了検査実施済証（市指定様式）が出力できること。				
		56	工事完了検査実施済証は、申請受付入力画面より対象の受付情報に絞り込んだ状態で運動起動又は同一画面により表示できること。				
		57	工事完了検査実施済証の出力項目として、発行日、手数料（単価×数量1、単価×数量2、合計金額）、予定栓番号／開発番号を任意指定できること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ* 金額	別途提案 ページ* 番号	備 考
	料金システム連動処理	58	工事完了検査実施済証は、抽出条件に「条件付認証」が指定できること。この時、帳票上には市が指定する文言を表示できること。				
		59	申請受付入力画面より、加入金用の納入通知書が出力できること。				
		60	加入金用の納入通知書は、申請受付入力画面より対象の受付情報に絞り込んだ状態で連動起動できること。				
		61	新設の場合、受付が完了しているもののみを対象に、料金システム上の新規施設情報を連動処理により作成できること。 なお、連動する項目は、水栓番号、所在情報（住所、方書、部屋番号等）、施設情報（用途区分、給水方式、メーター情報、取付日、取外日等）、所有者情報等、新規登録に必要な情報を網羅していること。				
		62	改造、撤去、職権時は、項番31 の項目について、料金システムの最新情報を連動処理により自動表示・入力できること。				
		63	メータ交換時における交換前のメーター情報（口径等）については、料金システムの最新情報を自動で表示・設定できること。				
		その他システム連動処理	64	受付入力画面上に、地図連携ボタンを配置し、マッピングシステムを連動起動できること。			
			65	受付入力画面上に、地図連携ボタンを配置し、ファイリングシステムを連動起動できること。			
所有者異動業務	受付業務	66	所有者変更届出に対する受付入力ができること。				
		67	事業（上水道、簡易水道）単位で受付履歴を管理できること。				
		68	事業、年度ごとに受付番号を自動採番できること。				
		69	受付番号は、空き番を任意指定できること。				
		70	申込日、受付日、異動日が入力できること。				
		71	異動理由が入力できること。 なお、異動理由は必要に応じて追加できること。				
		72	アパート、マンション等、同一所在地に対して複数施設が登録されている場合は、複数施設を1つの受付履歴として登録できること。				
		73	同一所在地に複数登録されている施設がある場合は、変更元の所在住所と所有者が一致する水栓番号の施設一覧を画面上に表示でき、且つ名義変更処理を一括で更新できること。 なお、複数施設の内、更新対象を任意指定できること。				
		74	所有者異動履歴は、申請ありきの変更履歴だけでなく、所有者情報が使用者情報になっているなど、現況と相違していることを確認した時点で訂正履歴としても登録できること。				
	問合せ	75	受付履歴の検索画面が用意されていること。				
	帳票	76	所有者異動受付一覧表が出力できること。				
		77	所有者異動受付一覧表の表示方法は、1つの受付に対して1行のみ出力する場合と、1つの受付で複数施設を全て表示する場合に対応できること。				
		78	所有者異動受付一覧表は、一覧表の並べ替えが複数指定できること。				
		79	指定した抽出条件は、画面終了と同時に保存され、次回起動時に前回抽出条件として指定されていること。				
	料金システム連動処理	80	名義変更の登録と同時に、料金システムの最新所有者情報も更新することで、システム間での整合性を保てるよう同期を図ること。				
		81	名義変更結果については、所有者マスタ上のメモ情報等を活用し名義変更元・先情報が所有者情報からも概要が把握できるよう工夫されていること。				
		82	給水関連システムと料金システムの所有者情報が何らかの原因により相違していないかをチェックできること。 また、相違対象施設を一覧表示させ、料金システムへ最新の所有者情報を一括連動処理により更新できること。				
納付書業務	納入通知書データ作成	83	納入通知書（加入金、指定事業者登録手数料）の金額は、条例に基づき自動算定でき、納付請求履歴として管理できること。				
		84	納入通知書は、バーコードによる消込に対応していること。				
		85	納入通知書は、加入金、指定事業者登録手数料以外についても任意で作成できる機能（必要項目は手入力）を有すること。 なお、任意で作成する場合については、運用上の便利機能として使用するため、バーコードの出力は必要ないものとする。				
	帳票	86	納入通知書を出力できること。 （加入金、指定工事事業者登録手数料）				
		87	収納日報が出力できること。				
		88	収納日報の抽出条件は、収納日、年度、収納方法が指定でき、且つ全件、範囲指定を任意指定できること。				

業 務	分 類	項番	要求仕様	回答	カスタマイズ*金額	別途提案 ページ*番号	備 考
指定工事店管理	受付業務	89	集計は、明細表・総括表を指定でき、必要に応じてレイアウトを切替えた表示方法に対応できること。				
		90	指定給水装置工事事業者指定申請に関連する受付入力ができること。				
		91	年度ごとに受付番号を自動採番できること。				
		92	受付番号は、空き番を任意指定できること。				
		93	受付種別は、新規、変更(指定事項変更)、廃止、休止、再開に対応していること。				
		94	申請状況(受付中、指定済、期限切)を管理でき、且つ画面上に表示できること。				
		95	申込日、受付日、申請理由、メモ情報が入力できること。				
		96	指定事業者情報が入力できること。 (指定事業者名称(漢字、カナ)、代表者名称、所在地、方書、電話番号)				
		97	指定工事店の指定満了日が画面上で確認できること。また残りの期間も表示できること。				
	主任技術者情報	98	主任技術者の選任・解任届出情報について履歴管理できること。				
		99	主任技術者の氏名及び免状の交付番号を入力できること。				
		100	主任技術者の選任日、解任日、届出日を入力できること。				
	問合せ	101	指定工事店の検索画面が用意されていること。				
		102	受付履歴を画面一覧上で確認できること。 (年度、受付番号、受付種別、受付日、入力日、理由、メモ情報、指定日)				
		103	検索画面には、以下の項目により検索できること。 (指定店コード、指定工事店名(カナ・漢字))				
	帳票	104	指定工事店受付一覧表が出力できること。				
		105	指定給水装置工事事業者証(市指定様式)が出力できること。				
		106	指定期限満了のお知らせ(市指定様式)が出力できること。				
修繕業務	受付業務	107	修繕に関連する受付入力ができること。				
		108	受付番号は自動採番できること。				
		109	受付区分(給水装置、配水施設)に対応していること。				
		110	修理項目、管種、修理日、修理報告日、故障内容、修理工事店、修理内容、修理費、備考が入力できること。				
	問合せ	111	受付履歴の検索画面が用意されていること。				
		112	検索画面には、以下の項目により検索できること。 (受付区分、修理項目、管種、修理日、修理報告日、故障内容、修理工事店、水栓番号、使用者氏名、修繕の所在住所(住所名、番地、号、方書))				
	料金システム連携処理	113	施設情報として、水栓番号、使用者名が表示されること。 なお、使用者名は、料金システム上の水栓番号に紐づく使用者履歴の中から選択できること。				
		114	修繕の所在情報として、料金システム上で使用するマスタ情報(住所・方書)を選択できること。				